

⚠ 取扱上の注意事項

製品名：開放型スプリンクラーヘッド「HFQR II - O型」



千住スプリンクラー株式会社

このたびは、当社のHFQR II - O型スプリンクラーヘッドをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。

本製品を安全かつ適正にご使用いただくため、「取扱上の注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いくださるようお願いいたします。スプリンクラーヘッドは使い方を一步誤ると本来の性能が発揮できないばかりでなく、消火性能を失う場合があります。

なお、本書は大切に保管し必要なときにお読みください。

■ この取扱説明書には安全に使用していただくために、次のようなシンボルマークを使用しています。

表示	表示の意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは、消火性能に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合の注意事項が記されています。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは、消火性能に悪影響を及ぼす可能性がある場合の注意事項が記されています。

⚠ 警告

取付け請負業者様の責務として、この「取扱上の注意事項」または本書のコピーを施主様、及びこの設備の管理者に必ずお渡しください。

施主様の責務として、この設備、及び機器が常に適切な状態となるように維持管理してください。

火災時には、まず安全な場所に避難してください。

消防隊が駆けつけた場合には、必ず消防隊の指示に従って行動してください。

お客様向け

注意 ご使用上の注意事項

1. HFQR II - O型スプリンクラーヘッド(以下、ヘッドといいます。)は、閉鎖型スプリンクラーヘッドであるHFQR II Aから感熱部を取除いたものと同じ性能(有効散水範囲が3.6m×3.6m)を持った水平取付け、埋込みタイプのヘッドです。要求仕様と相違ないことを確認してからご使用ください。

⚠ 警告

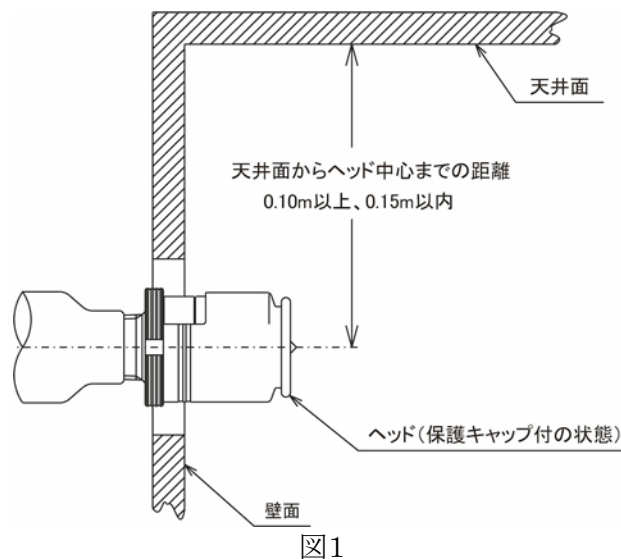
2. ヘッドに物をぶついたり、ぶら下げたり、突いたりしないでください。万一、外力が加わった場合は、ヘッドを交換してください。
ヘッドが変形し、所定の散水性能が得られない恐れがあります。

3. カーテン、垂れ幕や家具等により散水障害にならないようにしてください。
所定の散水性能が得られません。

4. 部屋の間仕切り変更や増改築を行う場合は、事前に専門業者(施工業者)にご連絡ください。
ヘッドの取付け位置の変更や、新たな設置が必要な場合があります。

⚠ 注意 取付上の注意事項

1. 設置及び施工に関しては、消防法施行令、施行規則、及び諸法令に沿って行ってください。
2. ヘッドを取付ける前に、必ずここに記載した「警告・注意事項」をよくお読みになり、十分に理解してから施工してください。
3. 放水圧力は0.1MPa～1.0MPaとしてください。
4. 1つのヘッドで防護する面積はヘッドの両側(水平方向)にそれぞれ1.8m、かつ前方へ3.6mとしてください。
これを超えると所定の散水による効果が得られない場合があります。
5. ヘッドを設置の際、天井面からヘッド取付けの中心軸との距離が0.1m以上～0.15m以内となるように取付けてください。
この距離が0.1m(10cm)未満の場合、所定の散水性能が得られません。



6. ヘッドの周辺には、散水障害となるようなものを設置しないでください。
所定の散水性能が得られません。
7. ヘッドは、扉の開閉や荷物の収納等により、接触・衝突しない場所に設置してください。また、落としたり、ぶついたりしたヘッドは、使用しないでください。

⚠ 警告

8. フラッシング等により、配管内の異物を取除いてからヘッドを取付けてください。
配管内に異物が詰まっている場合には、所定の散水による効果が失われます。
9. 取付け孔の中心の位置決めを行い、壁面ボードには直径58mmの孔をあけてください。
孔の直径が小さ過ぎた場合には、取付けレンチ(φ56)が孔に入りません。孔の直径が大き過ぎた場合には、専用のシーリングプレート(φ75)による側面ボードの孔の目隠しができません。
また、壁面ボードにあけた孔の中心と、ヘッド取付け配管の中心がずれないようにしてください。
保護キャップ先端の中心凸部を利用して、孔の中心の位置決めをする際は、壁面ボードを保護キャップの先端部に強く突き当てないでください。

⚠ 警告

10. ヘッドを取付ける際、ネジ部のシール材は、シールテープを使用してください。液状シール材を使用した場合、ヘッドのノズル内部にシール材が流入して、所定の散水性能が得られない恐れがあります。

11. ヘッドを取付ける際、ネジ部にシールテープを付け、保護キャップを取付けたままの状態、必ず専用レンチ「レンチHFQR-R」を使用して取付けてください。パイプレンチやインパクトレンチ等の使用は絶対にやめてください。

保護キャップは工事完了後まで取外さないでください。

ヘッドをレンチの中にキッチリと入れて、安定した状態で取付けてください。

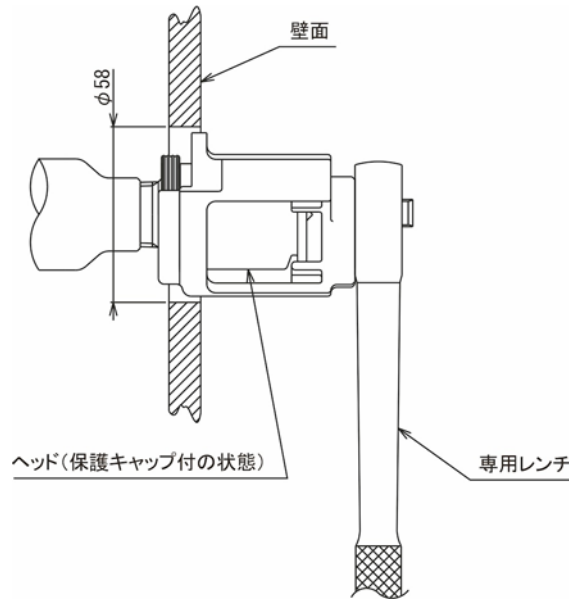


図2

12. ヘッドの取付けは、壁面が保護キャップに表示されている許容範囲内(取付基準位置±2mm)としてください。ヘッド取付け継手へのねじ込み量が約11mmの場合、継手の端面から壁面ボードのヘッド取付け面までの距離は、およそ18~22mmの範囲となります。

ヘッドが壁面より引っ込み過ぎると、所定の散水性能が得られません。

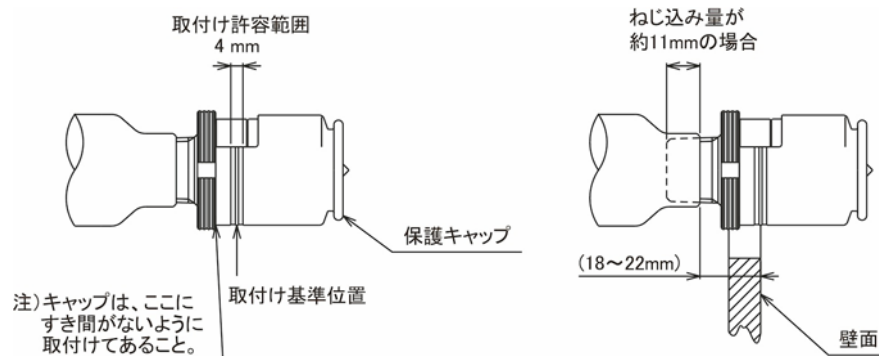


図3

13. ヘッドの取付けは、補助デフレクター側が上向きで、水平になるように取付けてください。傾けて取付けたりした場合は、所定の散水性能が得られません。

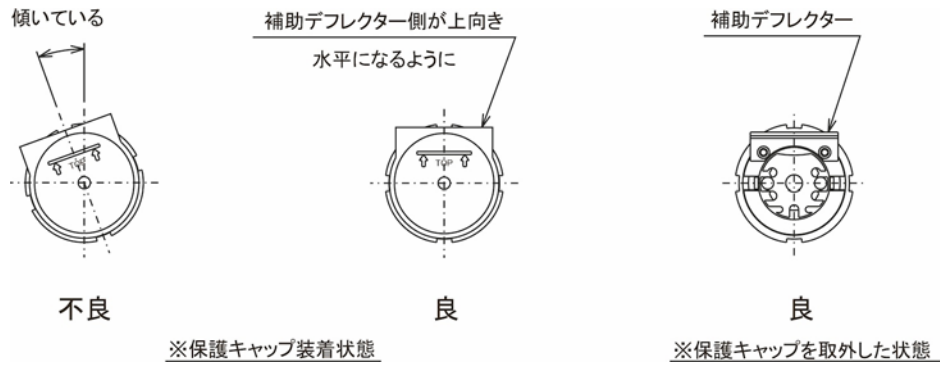


図4

14. ヘッドの保護キャップは、天井工事完了後に取外してください。保護キャップの取外しは、専用のキャップ取り工具「キャップ取り工具ZN」を使用してください。また、キャップを取外す際は、デフレクター等を変形させないように注意し、まっすぐに引いてください。保護キャップを取外した後、補助デフレクターが水平に取付けられていることを確認してください。また、ヘッドに付いているスリーブは外さないでください。

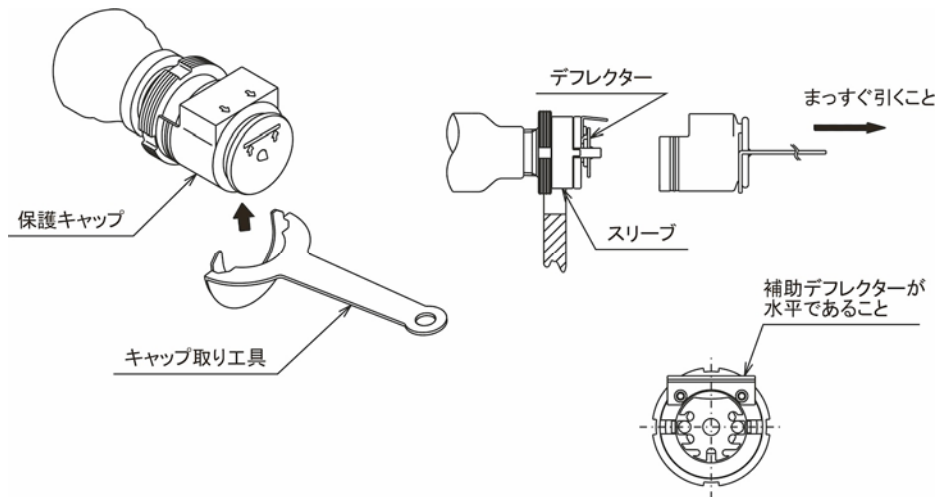


図5

15. シーリングプレートを取付ける場合には、専用の「シーリングプレートHFQR」をご使用ください。専用のシーリングプレートは、天井面に密着するように正しく取付けてください。シーリングプレートが正しく取付けられていない場合は、所定の散水性能が得られない場合があります。

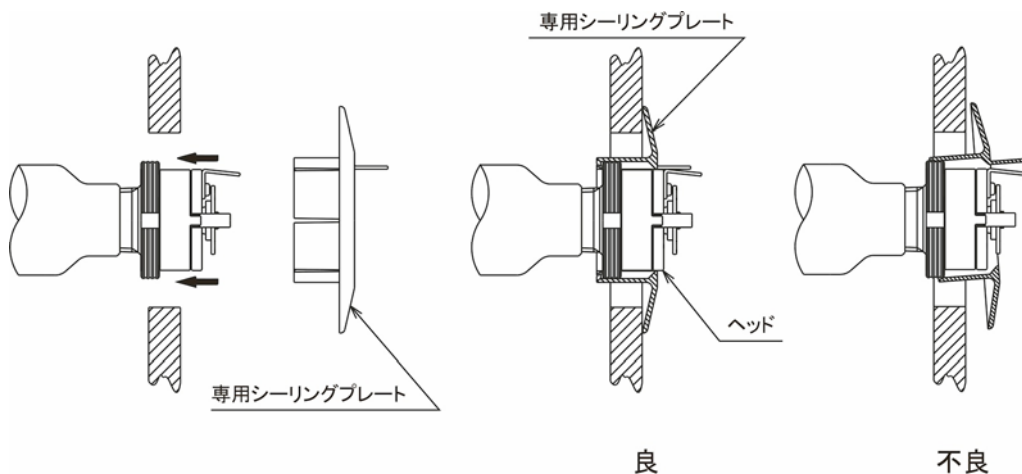


図6

16. ヘッドを交換する際は、取付けられているものと同じ機種で、新品のヘッドに交換してください。
機種が異なると、所定の性能が得られない場合があります。

製品仕様		
	製品名称	HFQR II-O型
	防護範囲	3.6m×3.6m
	取付け方向	水平
	取付けネジ	R 1/2
	使用圧力範囲	0.1 ~ 1MPa
	耐圧試験	2.5MPa (静水圧)
	流量定数	K80
	標準放水量	80L/min (0.1MPa放水時)
	質量	約110g
	標準附属品	シーリングプレートHFQR